

平成21年度 「能代デュアルシステム」推進事業  
夏季休業期間

「能代デュアルシステム」運営委員会

## I 実施要項

### 1 目的

- (1) ビジネスの基礎・基本の知識や技能の理解とアントレプレナーシップ（起業家精神）を身に付けさせる。
- (2) 地域経済の現状を理解し、地域に貢献できる職業人として積極的に進路決定ができる能力を身に付けさせる。
- (3) コミュニケーション能力を高め、社会人としてのマナーを身に付けさせる。

### 2 期間

夏季休業期間に5～15日間程度。

### 3 実習企業

能代山本地域にあり、生徒が希望する企業。

### 4 対象生徒

2年生、3年生の就職を希望する生徒。

### 5 実習の形態と内容

- (1) 実習企業については原則として生徒本人の希望を優先するが、希望する企業の受け入れができない場合には、話し合いにより他の企業になる場合もある。
- (2) 就業時間は一般の従業員と同じように1日8時間とし、始業時間と就業時間についても実習企業に合わせる。
- (3) 具体的な実習内容については、実習前に各企業と打ち合わせを行う。
- (4) アルバイトとは違うので賃金は支払われない。
- (5) 実習企業については生徒本人が調査し、実習の心構え等については事前に学校で指導する。

### 6 実習計画

- (1) 実習企業との面接、打ち合わせ  
実習企業決定後、企業と面接を実施し、実習内容等について打ち合わせを行う。
- (2) 事前指導  
目的、心構えと留意事項など事前指導を行う。
- (3) 実習中の指導
  - ①生徒は実習中、各企業の就業規則に従い、守秘義務を負う。
  - ②生徒は各企業の実習担当者の指導に従う。
  - ③生徒は毎日実習日誌を記入し、各企業の実習担当者の指導を受ける。
  - ④各企業を本校職員が巡回し、随時指導にあたる。
- (4) 事後指導
  - ①実習日誌を完成させ、報告書を提出する。
  - ②企業に礼状を送付する。

### 7 安全対策

- (1) 事前に学校で安全指導を行う。
- (2) 各企業へ生徒にとって危険な作業は避けてほしい旨を事前をお願いしている。
- (3) 生徒は財団法人産業教育振興中央会の児童・生徒のためのインターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険制度等へ加入する。保険料 ¥750 は自己負担する。

### 8 経費

保険料、交通費、昼食代は自己負担とする。

II 実習人数、実習期間、実習職種

1 実習人数

学年	男	女	計
2年	0	0	0
3年	6	22	28
計	6	22	28

2 実習期間 (延べ)

期間	人数
2日間	1
3日間	7
5日間	14
7日間	2
9日間	1
10日間	4
計	29

3 実習職種 (延べ)

職種	人数
販売	4
美容	2
幼児教育	3
保育	3
看護	5
介護	7
技術	1
製造	4
計	29

III 実習生徒一覧 (学年、生徒氏名、実習企業名、職種、実習期間、実習日数)

※ 以下各校の生徒氏名欄は個人情報により、空欄にしております。能代商業高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職種	期間	日数
3	A	男		ナカヨ通信機	ソフトウェア開発	8/18 ~ 20	3
3	A	女		ライジング	美容	7/29 ~ 31	3
3	A	女		赤玉薬品	販売	8/3 ~ 7	5
				アキタエース	製造	7/27 ~ 29	3
3	B	女		淳城幼稚園	幼児教育	8/3 ~ 5	3
3	B	女		ライジング	美容	7/29 ~ 31	3
3	B	女		淳城幼稚園	幼児教育	8/3 ~ 5	3
3	C	女		山本組合総合病院	看護	8/3 ~ 7	5
3	C	女		網タイマーサービスセンター、松籟荘	介護	8/3 ~ 7	5
3	C	女		すぎ保育園	保育	8/3 ~ 7	5
3	C	男		秋木製鋼	製造	7/22 ~ 31	7
3	D	女		淳城幼稚園	幼児教育	8/3 ~ 5	3
3	D	女		すぎ保育園	保育	8/3 ~ 7	5

能代西高等学校

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職種	期間	日数
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/3 ~ 7	5
3	A	女		山本組合総合病院	看護	8/3 ~ 7	5
3	C	男		秋木製鋼	製造	7/22 ~ 31	7
3	C	女		山本組合総合病院	看護	8/3 ~ 7	5
3	C	女		山本組合総合病院	看護	8/3 ~ 7	5

学年	組	性別	生徒氏名	実習企業名	職種	期間	日数
3	A	男		テラタ	販売	8/2～7	5
3	A	男		三國商事	販売	7/27～8/7	10
3	A	女		ユニ	製造	8/3～4	2
3	B	女		すぎ保育園	保育	8/3～7	5
3	B	女		ふっちゃん	介護	8/3～7	5
3	B	女		まつかさ園	介護	8/3～20	10
3	B	女		ふっちゃん	介護	8/3～7	5
3	B	女		ふっちゃん	介護	8/3～7	5
3	B	女		まつかさ園	介護	8/3～20	10
3	C	男		まつかさ園	介護	8/3～20	10
3	C	女		イトリテル ジャスコ店	販売	8/1～18	9

## IV 企業実習、事前・事後アンケート（対象 2・3年生）

※ 事前アンケートには二ツ井高校（11名）が含まれていません。

問1 あなたの学年は

	事前	事後
①2年生	0	0
②3年生	17	28

問2 あなたの性別は

	事前	事後
①男	3	6
②女	14	22

問3 あなたは将来なりたい職業が決まっていますか

	事前	事後
①決まっている	15	24
②決まっていない	2	4
③考えたことがない	0	0

問4 あなたは将来なりたい職業をいつ頃決めましたか、また、いつ頃まで決めたいと考えていますか

	事前	事後
①高校に入る前	7	10
②高校1年生のとき	2	3
③高校2年生のとき	3	3
④高校3年生のとき	4	11
⑤わからない	1	1
⑥その他	0	0

問5 あなたは職業を選ぶ際に不安を感じることがありますか

(1) どんな仕事が自分に向いているか

	事前	事後
①不安を感じる	12	14
②不安を感じない	3	9
③わからない	2	5

(2) どこで、だれに相談すればよいのか

	事前	事後
①不安を感じる	6	10
②不安を感じない	9	12
③わからない	2	6

(3) 会社や仕事に関する情報の入手方法について

	事前	事後
①不安を感じる	9	8
②不安を感じない	6	16
③わからない	2	4

(4) 面接試験の受け方について

	事前	事後
①不安を感じる	17	28
②不安を感じない	0	2
③わからない	0	0

(5) 社会人になる心構えについて

	事前	事後
①不安を感じる	15	22
②不安を感じない	1	1
③わからない	1	5

(6) 就職するために必要と思われる免許・資格の取得について

	事前	事後
①不安を感じる	11	14
②不安を感じない	4	12
③わからない	2	2

(7) 不景気で就職できるかどうかわからないことについて

	事前	事後
①不安を感じる	14	22
②不安を感じない	0	2
③わからない	3	4

問6 あなたが就職を希望する職種は

	事前	事後
①専門・技術・管理	3	7
②事務	0	0
③販売	0	2
④サービス	4	5
⑤生産工程・労務	2	3
⑥その他	8	8
⑦まだ決めていない	0	3

問7 あなたが就職を希望する企業等の業種は

	事前	事後
①建設業	0	0
②製造業	2	4
③金融・保険業	0	0
④卸・小売業	0	2
⑤サービス業	4	6
⑥公務	0	4
⑦その他	10	11
⑧まだ決めていない	1	1

問8 あなたが就職したいと思っている地域は

	事前	事後
①能代山本地区	8	11
②秋田市	1	3
③大館市	0	1
④東北地域	4	2
⑤関東地域	0	2
⑥その他の地域	0	0
⑦まだ決めていない	2	8

問9 あなたが秋田県内に就職を希望する理由は（3つ）

	事前	事後
①生まれ育ったふるさとに愛着がある	2	7
②ふるさとの自然環境、社会環境に馴染んでいる	5	10
③自分の働きたい職場、能力を生かせる職場がある	4	8
④将来、親の面倒を見る必要がある	0	1
⑤地元において家計の手助けをしたい	5	3
⑥両親・家族等から強く勧められた	2	1
⑦友人・知人が多い	4	4
⑧大都市での仕事、生活が自分には合わない	4	8
⑨その他	1	0

問10 あなたが秋田県外に就職を希望する理由は（3つ）

	事前	事後
①賃金などの労働条件がよい	3	2
②大企業が多い	0	1
③希望する企業や職種が多い	3	2
④技術や能力を生かせる職場がある	1	1
⑤視野を広げたい	3	4
⑥遊べる場所が多い	0	0
⑦保護者の元を離れて生活したい	1	4
⑧都会で暮らしてみたい	1	4
⑨友人・先輩等の勧めがある	0	0
⑩その他	0	0

問 11 あなたが職業や就職先を選ぶ際に重視したいこと、重視したこと（3つ）

	事前	事後
①賃金	12	16
②休日（完全週休2日制）	3	6
③勤務時間や残業の有無	2	5
④福利厚生、スポーツ・レジャーの有無	1	0
⑤職種	3	5
⑥業種	2	4
⑦会社の将来性	3	8
⑧会社の規模や従業員の数	0	0
⑨会社の知名度や評判	3	5
⑩会社の所在地	5	3
⑪経営者の魅力	0	1
⑫自分に向いているか	9	11
⑬やりがいを感じられるか	5	15
⑭取得した免許、資格、知識が活用できるか	3	5
⑮その他	0	0

問 12 あなたが希望する職種・条件と、会社が採用したい職種・条件との間に大きな隔りがある場合は

	事前	事後
①見つかるまで待つ	7	10
②変更してでも就職する	6	12
③わからない	4	6

問 13 転職について

	事前	事後
①転職しない方がいい	9	14
②仕事内容や職場が自分に合わない場合は転職しても	5	7
③もっといい職場があったら、転職してもいい	2	4
④わからない	1	3

問 14 フリーターについては

	事前	事後
①できればフリーターは避けたい	17	27
②希望する職種につけない場合はフリーターでもかまわない	0	1
③フリーターを選ぶことも考えている	0	0
④どちらともいえない	0	0

問 15 フリーターでもかまわない理由は（3つ以内）

	事前	事後
①職場にあまりしぼられたくない	0	0
②アルバイトでも生活できる	0	0
③自分の能力や専門をもっとみがきたい	0	1
④自分を一定の型にはめたくない	0	0
⑤時間をかけて自分の一生の仕事を決めたい	0	0
⑥希望する職種につくまでの間の生活費を稼げる	0	0
⑦仕事につく以外にやりたいことがある	0	1
⑧ライフスタイルとしてあこがれる	0	1
⑨その他	0	0

問 16 あなたは「日本版デュアルシステム」における企業実習をだれに勧められたか

	事前	事後
①自分からすすんで	6	9
②親	1	1
③先生	9	17
④企業	0	0
⑤その他	1	1

問 17 あなたが「日本版デュアルシステム」における企業実習を希望した理由は（3つ）、（事後については企業実習後得たものは何かという質問にした）

	事前	事後
①働くことを体験したかった	11	16
②会社の内容を知りたかった	4	4
③仕事内容を知りたかった	10	21
④職場の雰囲気を経験したかった	9	13
⑤学校で学んだことが役に立つか確かめたかった	1	0
⑥社会人としてのマナーを身に付けたかった	3	3
⑦コミュニケーション能力を高めたかった	2	9
⑧将来の進路決定に役立つと思った	9	16
⑨今後の目標をみつけたかった	1	2
⑩その他	1	0

V 生徒の報告書 以下各校の生徒氏名は、○君・○さん表記に変えています。

学年、組 生徒氏名（実習した企業名 職種 期間 日数）  
 ①実習前の就職や働くことについてのあなたの考え  
 ②実習後の就職や働くことについてのあなたの考えとよかったと思うこと

能代市立能代商業高等学校

3年A組 I君（ナカヨ通信機 ソフトウェア開発 8月18日～20日 3日間）

①実習前には内容がよくわからなくて、どのような仕事をするのか気になっていました。一年生の頃からこの会社に関心があり、二年生の終わり頃に同じ部活動の先輩が入社し、仕事の内容や試験の話を知りましたが、あまり想像はつきませんでした。働くといってもアルバイトもしたことがなく、自分の思っているイメージでは会社に貢献するということがうらやましく思いませんでした。

②生活していくうえで必要なことだと思いました。仕事ができるか、できないかはもちろん関係ありましたが、社会的なマナーやルールなども働くときには必要だと思います。人との信頼感、コミュニケーションなども重要だと思います。今回の実習は3日間でしたが、社会的なマナーについてとても勉強になりました。会社の方は仕事がとても真剣でしたが、休み時間になると先輩や上司の方に優しく話しかけていただきとてもよい雰囲気でした。また、先輩から高校生活の話や試験のことを詳しく伺うこともできました。この実習を通して学んだことは、今後の学校生活や将来のために役立てていきたいと思いました。そして、勉強を頑張り、この会社に是非入りたいと思いました。

3年A組 Kさん (ライジング 美容 7月29日～31日 3日間)

①美容師の仕事はただ髪を切ったり、染めたりするだけで、ただ働くだけなら楽だと思っていました。そして、私は美容師という職業は華やかでカッコいい仕事だと思っていました。

②企業実習が実際に始まり、考え方が変わりました。働く前は、仕事は簡単なものだと思っていました。でも、働いてみると、イメージしていた仕事だけではなく、お客さんとの応対や表からは見えない部分での気遣いをしているのがよくわかりました。そして、見えない裏での仕事がたくさんあり、とても大変な仕事だということが実習を通して理解できました。甘い考えではこの世界には通用しないのだと思いました。

3年A組 Hさん (アキタエース 製造 7月27日～19日 赤玉薬局 販売  
8月3日～7日 8日間)

①働くということは、それぞれの目標やノルマに向かって仕事をこなし、自立した人間になることだと思います。また、学校とは違うルールや環境で活動することで、自分を高めることにもなります。自分の力で生きていける人間になるために、働くことは不可欠です。働くことで新たな道が開けることもあると思います。人生において、働くということとはとても意義があり、重要なことだと思います。

②今回の実習を終えて、働くということは仕事をこなすだけではなく、職場や現場の人たちとのコミュニケーションも非常に大切であるということ学びました。ただ仕事をするだけではなく、先輩や同僚とコミュニケーションを取りながら仕事をする方がやる気も出て、より成長できるのだと思いました。

職場の方と同じ時間に出勤、退社するのは初めてで緊張しましたが、気軽に話しかけていただいたり、ていねいにご指導していただき、思っていたよりも早く仕事に慣れることができました。特にアキタエースでの実習は、製造職を希望している私にとってはとてもよい体験になりました。製造するものや方法も違いますが、ものをつくる職場の雰囲気を体感することができました。インターシップよりもさらに本格的な空気に戸惑いがありましたが、就職後に必要なことをたくさん学ぶことができ、良かったです。赤玉薬局では、初めての販売の仕事に携わり、思っていたよりも楽しいと思いました。デュアルシステムに参加し、自分の新たな可能性を見つけることができ、とても良かったと思いました。

3年B組 Kさん (淳城幼稚園 幼児教育 8月3日～5日 3日間)

①働くということは生活していくために必要なことだと思います。そして、自分が心からやりたい仕事でないと続けていくことは難しいと思います。保育士という仕事は子供が好きだからという甘い考えではやっていけないと思っています。

②私は実習を終え、幼稚園の仕事は自分が思っていた以上に体力や手先の器用さ、精神的な面などとてもたいへんな仕事だと思いました。子供とどのように接したらよいかわからないときも多くありました。でも、一日目、子供達のいる教室に入ったとき、不安と緊張でいっぱいだった私に子供たちが進んで近づいてきたとき嬉しくなり、将来この仕事に就きたいと強く思いました。三日間という短い実習でしたが、先生方から多くのことを教わりました。例えば、子供とどのように向き合ったらよいか、どのように話したらわかってもらえるか、質問されたときどのように答えたらよいかなどです。また、子供たちからもたくさん学ぶことができました。私は実習を終え、あらためてこの仕事に就きたいと思いました。これから苦労すると思いますが、今回学んだことをこれから生かしていきたいです。

3年B組 Kさん(ライジング 美容 7月29日～31日 3日間)

①働くということは、生きていくうえでほとんどの人が経験することだと思います。私は、幼い頃から美容師になることが夢だったので、美容の仕事は自分にとっては苦にならないだろうと思っていました。働くことを体験したことがなかったので、本当の社会の厳しさも知らない状態でした。

②実際働いてみると、実習前とは考えが変わりました。美容師という仕事はとても華やかに見えますが、実際に働いてみると思っていた以上に身体を使う仕事で大変でした。今回の実習では従業員の方と同じように働いたので、悪いところは厳しく注意を受け、良いところはほめてもらいました。私はこの仕事をしていくうえでたくさんの壁にぶつかると思っています。しかし、辛いことが9割、喜びが1割しかなくとも、その1割にやりがいや楽しさを見つけることができるのではないかと思います。

3年B組 Sさん(湊城幼稚園 幼児教育 8月3日～5日 3日間)

①私は保育士になることを決めていました。しかし、親や幼稚園のときの先生に保育士の仕事は大変だと聞かされていました。どんな仕事も楽なものはないと思いますが、2年生のときにあったインターンシップを今思い出すと、とてもたいへんだったと思いました。

②企業実習前の考えとあまり変わりませんが、実習を終えてわかったことは、どんなに大変で疲れていても子供たちの笑顔に私が助けられているということでした。好きな仕事ができるということは幸せなんだと思いました。子供たちと触れ合うことが一番の収穫でした。保育士になろうという気持ちがより強くなりました。

3年C組 Kさん(山本組合総合病院 看護 8月3日～7日 5日間)

①実習前まで看護師の仕事というのは、注射をしたり、手術に立ち合ったりすることが主だと思っていました。テレビなどでよく患者と接している看護師の姿を見ますが、表面的なところしか見ていませんでした。今回の実習で思っていたこととの違いに驚きました。

②今回の実習を通して、看護師の仕事に対してやりがいを強く感じました。私が思っていた看護師のイメージが間違っていたと痛感しました。看護師の仕事は、医療のことはもちろんですが、患者のケアも多くありました。患者の身体をタオルで拭いたり、お風呂で身体や髪を洗ったり、配膳をしたり、排泄の手助けをしたりと、患者の生活の補助がメインでした。普段自分が一人で何気なくしていることを他人にするのは非常に困難なことで、健康の大切さを改めて実感しました。また、看護師の方々が患者と何気なくとっているコミュニケーションを実際にとろうと試みましたが、最初は何を話したらいいのか全くわかりませんでした。仕事については、見た目と実際に体験して見るのでは大きく違うということがわかりました。今回の実習では、人と人との助け合いに感動し、看護師という職業が今まで以上に好きになりました。実習ではなく、いつか看護師として患者のお世話ができることを強く思いました。

3年C組 Sさん(緑町ディサービスセンター 松籟荘 介護 8月3日～7日 5日間)

①働くということについて、私は社会に出てから生活するために必要なお金を稼ぐことぐらいにしか考えていませんでした。

②今回の実習によって改めて働くことの大切さを知りました。実習をする前には「ただ働けばいい」という考えしかありませんでしたが、実習した介護老人ホームやディサービスセンターではただ働くというのではなく、思いやりを持って接し、車いすを押したりと利用者に配慮しながら仕事をするのが大切だと実感しました。

3年C組 Sさん(すぎ保育園 保育 8月3日～7日 5日間)

- ①実習前、私は子供たちと楽しく接し、準備や片付けをしたり、子供の世話などをしたりと自分から進んで頑張ろうと思いました。体力も必要だし、精神面でも負けないようにしようと思いました。
- ②実際に企業実習を体験し、まずおやつや遊びの準備、お昼寝の準備、掃除、おむつの交換などやるのが次から次へと続き、思っていた以上に大変でした。すぐ疲れてしまいました。それから、子供たちの相手をしましたが、言葉がうまく伝わらず、理解してもらえなかったり、けんかしている子供たちを止めることも難しく、子供たち一人一人を見る余裕もなくなり、いろいろと配慮できませんでした。それに比べて先生方は、ことが起きる前に止めることができたり、瞬時に行動していたので感動するばかりでした。

3年C組 Sさん(秋木製鋼 製造 7月22日～31日 7日間)

- ①働くことは生きるために必要なことだと考えます。今の時代は衣食住のためにお金が必要です。お金を稼ぐために働かなければいけないと思います。
- ②企業実習を終え、働くということについての考えは変わりませんが、社会人としての責任が問われるということがわかりました。企業の方に会社というのは時計の様なもので、そこで働いている人は一人一人が大事な歯車で、みんなで会社を機能させるのだと教えられました。会社のなかでは一人一人に重い責任があるのだということです。また、今回の実習で職場の雰囲気も知ることもでき、今後の進路に参考になる貴重な体験ができました。

3年D組 Oさん(淳城幼稚園 幼児教育 8月3日～5日 3日間)

- ①資格を取得し、目標に向かって一生懸命に働きたいと思います。自分の力の限り仕事をし、やりがいを持ち、働きたいと思います。
- ②初めて会う子供たちなのに、みんながそばに寄ってきてくれたのがすごく嬉しかったです。3日間という短い期間でしたが、子供たちの世話をしたり、先生方の手伝いをしてとても勉強になることがたくさんありました。自分の目標に向かい、やりがいを見つけることができました。

3年D組 Nさん(すぎ保育園 保育 8月3日～7日 5日間)

- ①働いてお金を稼ぐことは生きていくために大切なことだと思います。でも、決して簡単なことではないので、自分のやりたい、むいている仕事に就ければよいと思います。
- ②5日間の実習を終えて、保育士の仕事は重労働だと思いました。子供たちの相手ばかりではなく、プール、おもちゃ、おやつ、食事の準備、後片付けなど子供たちが生活しやすいように次々に動かさなければなりません。でも、子供が好きですし、やりがいのある仕事だと改めて思いました。保育士になりたいという気持ちがますます強くなりました。

秋田県立能代西高等学校

3年A組 Iさん（山本組合総合病院 看護 8月3日～7日 5日間）

①看護師は医師からの指示を受けたことをこなし、患者さんのケアを行うことが主な仕事だと思っていました。しかし、今回の実習では身体のケアはもちろん心の内面からのケアも重要だということがわかりました。どんなときでも笑顔を絶やさずに患者さんに接することが大切だということを知って、いくら辛くとも大変でも顔に出さない看護師の方々を見て、とても尊敬しました。ミスのない医療も大切ですが、一番重視される場所は人間性だということを実習を通して学ぶことができました。そして、何よりもこれからは人として人間性を高めていかなければならないと思いました。人間性が高い、信頼される看護師に慣れるように頑張っていきたいです。

②今回の実習では、1年生の時の一日看護体験とは違い、より具体的に仕事を体験することができました。内容は、清式、手浴、足浴、配膳、コミュニケーションなどです。水曜日はシーツの交換日で、全病室のシーツ交換を行いました。初日は、とても緊張して作業を思うように進めることはできませんでした。2日目以降は、仕事にも慣れ、患者さんとのコミュニケーションまで図れるようになりました。私はコミュニケーションを取ることが苦手で、とても不安でしたが、この5日間で克服することができました。また、普段見ることができない手術室や検査室を見学することができ、本当に貴重な体験をさせていただきました。今回の実習を通して、看護師という仕事に対する理解が一層深まりました。とても大変な仕事ですが、患者さんからのお礼や暖かい言葉、笑顔をもらえたときに、とてもやりがいを感じ、とてもいい職業だと思いました。5日間という短い期間でしたが、内容の濃い、充実した実習でした。

3年A組 Kさん（山本組合総合病院 看護 8月3日～7日 5日間）

①以前に一日看護体験という職場体験に参加しましたが、5日間という長い期間での実習は初めてなので実習内容も幅広くなると思います。看護師という仕事の大変さや厳しさ、楽しさ、やりがいなどを学べる貴重な5日間だと思います。もちろん、職場の雰囲気や環境などもみたいと思います。患者さんとのコミュニケーションも大切だと思うので、積極的に話しかけるようにして、患者さんに喜んでいただけるようなケアができるように心がけたいと思います。看護師になるための重要なことを、職場の方々から学び、アドバイスや注意をしっかりと聞いて、この5日間の実習を頑張りたいと思います。

②5日間の実習を終え、看護師の仕事の大変さを改めて知ることができました。働くことの意義を理解することができました。5日間の実習では、清潔援助や環境整備、検査やリハビリの見学、実際に車いすや松葉杖を使って体験してみるなどいろいろなことをしました。初めは、なかなかスムーズに動くことができませんでしたが、徐々に慣れてきて難しかった清式もすばやくできるようになりました。患者さんとのコミュニケーションも初めはうまく話しかけができず、戸惑いましたが、だんだんとうち解けてくるにしたがって、コミュニケーションが取れるようになってきました。今回の実習では看護の仕事だけではなく、患者さんの気持ちや生活することの大変さも知ることができました。看護師を目指している私にとってはとても貴重な5日間でした。

3年C組 M君（秋木製鋼 製造 7月22日～31日 7日間）

①働くということは、汗を流して自分のやるべきことだけをやればよいと考えていましたが、それほど深くは考えていませんでした。しかし、この実習を通して、働くためには人とのコミュニケーションの大切さ、作業する厳しさ、お互いに助け合うことの重要性などを知ることができました。

②実習ではMTとPTの検査をやりました。MTは製品の欠陥を探すという作業です。PTはスプレーをかけて、その後に赤い液体を塗り、布で拭き取ることによって欠陥を見つけるという作業です。これらの作業は製品をつくるうえで大切なものであるということがわかりました。このデュアルシステムを終えて、私は就職しなければならないという気持ちを再度確認することができました。それ以前は働かなくてもよいのではないかと考えたときもありました。しかし、今はそう思うことはありません。働かなければ生活できません。自分のやるべきことができる、やり遂げられる人間になりたいと思います。

3年C組 Mさん（山本組合総合病院 看護 8月3日～7日 5日間）

①企業実習をする前まで、看護師という仕事は医師の指示を聞き治療したり、医師の助手をするものだと思っていました。しかし、実際体験してみて、看護師の仕事は患者さんと触れ合う時間が一番長く、患者さんにとってとても大事な存在だと感じました。患者さんの清潔援助は患者さんの気持ちが全部わかるわけではないので、不安に思うこともたくさんあり、さらに思っていたよりも重労働で体力が必要だということを改めて感じ、やっぱり大変な仕事だと思いました。しかし、患者さんの嬉しんでいる顔や「ありがとう」という言葉をかけられると、もっと頑張ろうと思いました。実習に参加し、看護師という仕事のやりがいを感じ、人間として成長できたと思います。

②企業実習を終えて、働くということは大変なことでもあるけれど、とてもやりがいがあるものだと思います。実習を通して学んだことは、仕事に限らずどんなことでも一人ではできないということと健康であるということです。医師の方や看護師さんの検査や治療する現場をみたり、実際に患者さんに関わり、一人で仕事をこなすのは大変で他の人の協力があるからこそできるのだと実感しました。また、健康であるからこそ患者さんに看護ができるわけで、健康であることの大切さがわかりました。今回は他の学校の生徒も含めて5人の実習でしたが、途中一人も欠けることなく全員で5日間やり遂げることができたのでよかったです。そして、患者さんとのコミュニケーションなど普段体験することができない貴重な体験ができ、看護師という仕事のおもしろさを改めて感じ、看護師になりたいという気持ちがより深まりました。

3年C組 Yさん（山本組合総合病院 看護 8月3日～7日 5日間）

①実習前、看護の仕事については医者への指示のもとに言われた通りに動くだけでよいと考えていました。とにかく忙しいイメージが強かったのですが、5日間の実習では嬉しいことも多く、充実していました。看護師についてのイメージは今回の実習で大きく変わりました。その他の仕事についても、実際に体験してみるとかなり違うのではないかと思います。私はこのデュアルシステムに参加してよかったと思いました。

②企業実習を終え、働くことについての考え方が大きく変わりました。今まで、看護師の仕事は医者に言われた通りに動くというイメージが強かったのですが、実習を通してそうではないということに気づきました。患者さんの状態を一番近くで見ているのは医者ではなく、看護師であり、対等な存在であることに気がつきました。今回の実習でよかったと思うことは、直接患者さんとコミュニケーションが取れたことでした。看護部長さんに、「看護師にとって一番大切なことは優しい笑顔と態度だ」と伺いました。本当にその通りだと思いました。看護師の態度で患者さんの気持ちが変わるかもしれないし、何よりも関わる仕事なので笑顔が大切だと思いました。今までこのような実習に参加したことがありませんでした。実習を終え、看護師になりたいという気持ちが一層大きくなりました。実習に参加してよかったと思いました。

秋田県立二ツ井高等学校

3年A組 Tさん（テラタ 販売 8月3日～7日 5日間）

①大変だと思っていました。働いた分相応の給料をもらうことができると考えていました。  
②同じ職場の人たちとの協調性やあいさつが大切だと思いました。楽な仕事はありませんでしたが、やりがいのある仕事が多く、時間のたつのも忘れることができました。いろいろな経験ができてよかったと思いました。

3年A組 F君（三國商事 販売 7月27日～8月7日 10日間）

①働くということは自分が生きていくために必要なことだし、社会的に意義のあることだと思います。  
②企業実習を終えて、働くことの大変さ、やりがいを知ることができました。

3年A組 Yさん（ユニ 製造 8月3日～4日 2日間）

①あいさつすることや仕事をきちんとすることが大切だと思います。  
②服のたたみ方などの仕事を教えてもらい、きちんとやることができたのでよかったと思います。

3年B組 Iさん（すぎ保育園 保育 8月3日～7日 5日間）

①厳しいが、自分のやりたい仕事なら楽しいと思います。  
②とても厳しく、想像していた仕事内容と違っていました。でも、とてもやりがいのある仕事だと思いました。

3年B組 Sさん（ふっちゃん 介護 8月3日～7日 5日間）

①実習前はあまり大変だとは思いませんでした。  
②実習を終えて、介護職はとても大変な仕事だと改めて思いました。

3年B組 Sさん（まつかさ園 介護 8月3日～20日 10日間）

- ①人との関わりが大切だと思います。
- ②自分が思っているより介護の仕事は大変だということを感じました。入居者とのコミュニケーションだけではなく、その家族との関係も大切だということ学びました。今回の実習を通して、介護についていろいろと知ることができました。

3年B組 Sさん（ふっちゃん 介護 8月3日～7日 5日間）

- ①働くことは大変なことだと思いますが、生活するためにはお金を稼がなければならないので必要なことだと思います。
- ②今回の実習ではたくさんのお話を学ぶことができました。特に介護の仕事は、コミュニケーションが大切だと思いました。お年寄りに話しかけてみたり、入浴の手伝いをしましたが、コミュニケーションが一番難しかったです。自分の進路を考えるうえでも参加してよかったと思いました。

3年B組 Tさん（ふっちゃん 介護 8月3日～7日 5日間）

- ①実習前には働くことが大変だとは思っていませんでした。
- ②今回、デュアルシステムに参加して、大変な仕事ほどやりがいや達成感があることを知ることができました。自分のためになることを多く経験することができました。

3年B組 Fさん（まつかさ園 介護 8月3日～20日 10日間）

- ①厳しくて大変なことだと思います。
- ②実際に現場で働いて、働くことの楽しさを知ることができました。職場の方々の交流を通じて、職場の雰囲気を楽しむこともできました。とてもよい経験になりました。

3年C組 O君（まつかさ園 介護 8月3日～20日 10日間）

- ①決められた仕事を決められた量をこなすだけで給料をもらうことができ、生きていくための手段であると考えていました。
- ②働くことは人に喜んでもらうことも大切だということがわかりました。福祉の現状が理解でき、働くことの厳しさを再確認できて、よかったと思いました。

3年C組 Yさん（イオンリテール ジャスコ店 販売 8月1日～18日 9日間）

- ①実習前には、あいさつとコミュニケーションができればよいと思っていました。仕事は会社に就職すればすぐできると考えていました。
- ②実習を通して、以前よりもしっかりとしたあいさつや人との関わりができるようになりました。働くことは簡単なことだと考えていましたが、実際に働いてみるとすごく大変でした。このデュアルシステムを通して、仕事の厳しさや大切さを学ぶことができました。

## VI 企業について

### (1) 受入企業一覧 (企業名、職種、受入生徒数、受入日数)

NO	事業所名	職種	受入生徒数(人)	日数(日間)
1	秋木製鋼	製造	2	7
2	ナカヨ通信機	ソフトウェア開発	1	3
3	テラタ	販売	1	5
4	赤玉薬品	販売	1	5
5	イオンリテール ジャスコ店	販売	1	9
6	ユニ	製造	1	2
7	アキタエース	製造	1	3
8	三國商事	販売	1	10
9	湊城幼稚園	幼児教育	3	3
10	すぎ保育園	保育	3	5
11	山本組合総合病院	看護	5	5
12	ライジング	美容	2	3
13	グループホーム まつかさ園	介護	3	10
14	緑町デイサービス、松籟荘	介護	1	5
15	ふっちゃん	介護	3	5

### (2) 受入企業アンケート集計結果

◎ □の中の数字は企業数を示す

問1 企業実習の時期については、いつ頃がいちばん都合がよいでしょうか。

1	7月中旬～8月中旬(夏季休業期間)	7
2	12月中旬～1月中旬(冬季休業期間)	0
3	3月下旬～4月上旬(春季休業期間)	0
4	時期はこだわらない。	3
5	その他( )	0

問2 企業実習の期間について、企業として可能な期間は何日程度でしょうか。

1	5日間程度	9
2	10日間程度	0
3	20日間程度	0
4	1ヶ月間程度	0
5	その他(2日間、生徒の人数による、生徒に任せる)	1

問3 企業実習の生徒の人数について、企業として受け入れ可能な人数は何人程度でしょうか。

1	1名	0
2	2～3名程度	7
3	5名程度	1
4	その他(生徒の居住地により分散する場合がある)	2

問4 受け入れにあたって「日本版デュアルシステム」における企業実習とインターンシップにおける企業実習との違いがありましたか。

1 違いがあった	0
2 違いがなかった	8
3 わからない	2
4 その他 ( )	0

問5 問4で1を選んだ方について、どのような違いがあったかご記入ください。

問6 受け入れた生徒に対する評価をお願いします。

(1) 業務に対する姿勢

1 非常に積極的	4
2 やや積極的	8
3 普通	9
4 やや消極的	1
5 非常に消極的	0

(2) 業務に対する理解度

1 非常によい	3
2 ややよい	10
3 普通	9
4 やや悪い	0
5 非常に悪い	0

(3) 職場でのマナー

1 非常によい	1
2 ややよい	10
3 普通	11
4 やや悪い	0
5 非常に悪い	0

問7 本事業に対する感想や今後の事業の取り組みに対するご要望をお願いします。(自由意見)

- 大変よい取り組みだと思います。学校ごとに3日間ほどの実習はありますが、何人かでくるため半分遊びなのかと感じる場合が多々あり、その点将来をしっかりと考えての実習になるので本人の心構えからして違うように思われました。少し元気のないのは今回の生徒だけではありませんが、あまり元気がないので、部活動は何をやっているのと聞くと、運動部に入っているとは答えるのですが、元気がなく基本的なあいさつもできないうえ、動きも鈍くがっかりすることがありました。学校側でも十分に指導はされていると思いますが、今一度実習前に指導し、確認していただきたいと思いました。また、機会がありましたらよろしく願いいたします。

- 今回、実習にきた生徒は5人が共に目的意識がはっきりしており、何をしたいのか、何を知りたいのかを聞き、それに沿ってこちら側も進めることができました。以前一日看護にも参加した生徒もいて、もっと深く勉強したいということで今回参加されたようでしたので、看護職を一人でも多く増やすためにもこのような姿勢や志を持った生徒を受け入れるのは私たちの使命とも思います。一回の受け入れ人数として、今回のように5名程度、5日間ぐらいが限度と思いました。本院はしらかみ看護学院と秋田看護福祉大学助産科学生の実習病院となっているからです。今回の実習が益々実りあるものになりますように期待しております。
- 会社（社会）と学校の違いを理解できない場合があります、戸惑いがみられますので指導をお願いします。社会環境が国際化し、ビジネスの国際化、自由化といわれて久しいが、特に社会変化のスピードが速いのでこのことも学校で教えてほしいと思います。また、仕事の確認、報告、連絡、相談等において社会一般で通じる言葉遣いの指導も必要だと思われれます。
- これからもこういった機会を利用して将来の職業選択のため、高校生にとって仕事の大変さ、また楽しさを少しでも感じられるよい経験になればと思います。ただ、しっかりとあいさつをすること、必要な着替えなどを忘れないことなど、最低限のマナーは学校側からの指導をお願いいたします。
- 私たち事業所としてはどの程度お役に立っているかはわかりません。ただ実習生が事業所に入ることによって活気とか笑いが増えることは確かです。学校も事業所もお互いに少しでもプラスになると考え、今後も協力していきたいと思っています。
- 10日間の実習によって入居者と実習生との間に親しみの感情がわいてきて、最終日にはお互いに別れを惜しむ気持ちになりました。これは職業観を高め、高校生の就職を促進する一助となったのではないかと思います。3名とも福祉系に進むということで、特に当施設は認知症の患者が多く、認知症の方への声かけ等を学び、仕事について理解したと思います。最終日にはお互いの感想などを話し合うことができ、実習生からも意見が出され、今後に役立てていくことにしました。
- 7月の会社説明会とデュアルシステムの実習期間が重なったため、デュアルシステムに参加する生徒は説明会に参加できなかったようです。デュアルシステムの方が大切だと言っていたのですが、能代での説明会は年一回だと思いますので、他の会社や他の生徒の行動を見るせっかくの機会でなかったのではと思いました。